

移植医療のスペシャリスト集団

生体・脳死肝移植、膵臓移植、膵島移植、生体・脳死小腸移植を行っています。関連業務として、術前準備、レシピエント登録、病理診断、薬物血中濃度モニタリング、HLA検査、移植コーディネーター業務も行っていきます。

診療体制

移植外科医(5名)、消化器内科医(1名)、病理医(1名)、移植コーディネーター(4名)、事務補佐員(2名)で構成されています。各スタッフがそれぞれの専門分野を担当し連携しながら、術前評価から周術期管理、長期フォローまで担当します。

対象疾患

- ①肝移植:胆道閉鎖症、代謝性疾患、劇症肝炎、肝硬変、肝細胞癌など
- ②膵臓移植:重症糖尿病、糖尿病性腎不全(膵腎同時移植)
- ③小腸移植:短腸症候群、機能障害による小腸不全など
- ④膵島移植:重症糖尿病、慢性膵炎

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

肝臓移植は、これまで1,500例以上施行し、特に生体肝移植は国内年間施行例の約20%を占めています。膵島移植は2004年にわが国初の移植を施行してからこれまで22回の移植が10名(生体移植1名を含む)に行われました。

高度医療の取り組み・研究

○膵島移植、膵島分離

膵島移植は、2010年11月1日に高度医療(第3項先進医療)に承認されました。また、各移植において、臨床研究及び基礎研究を実施しています。



日帰り手術で入院期間を最短に

日帰り手術と短期入院手術を行っています。患者さんが安全かつ安心して手術(検査や処置も含めて)を受けることができ、手術中のみならず、手術前から手術後までのきめ細かいケアを提供できる体制を構築しています。

診療体制

各診療科専門医が手術を行います。専任の看護師(17名)と麻酔科専門医(3名)が外来・病棟(短期入院の場合)の医師・看護師と連携して、手術前、手術中および手術後のケアを提供しています。

対象手術

鼓膜切開チューブ挿入術、扁桃摘出術、喉頭微細術、インプラント、子宮鏡・子宮頸部手術、膀胱鏡・関節鏡手術、手足変形修復術、乳腺手術、痔、ヘルニア手術、電気痙攣療法、諸種の皮膚・形成外科手術など。

診療、研究実績

症例

手術(処置・検査を含む)総件数は約4,000件、うち麻酔科医が管理する(全身麻酔、脊髄クモ膜下麻酔や神経ブロックなどで行う)手術は約1,500件です。

高度医療・臨床試験

- ①各診療科の高度医療・臨床試験に協力しています。
- ②各診療科と協力して、手術・麻酔に伴う合併症ゼロ、入院日数短縮、患者さんの早期社会復帰など、高い医療の提供をめざして研究を行っています。

